



中国横断自動車道姫路鳥取線 姫路鳥取線保守・ 長尾影石地区舗装工事

道路、トンネルなどが急速に老朽化を迎え、国はその対応を迫られています。国土交通省は、維持管理への新たな取り組みとして「長期保証型の契約方式」を導入、大成ロテックは、この方式で「中国横断自動車道姫路鳥取線」の舗装工事を契約しました。

長期保証型の契約方式とは？

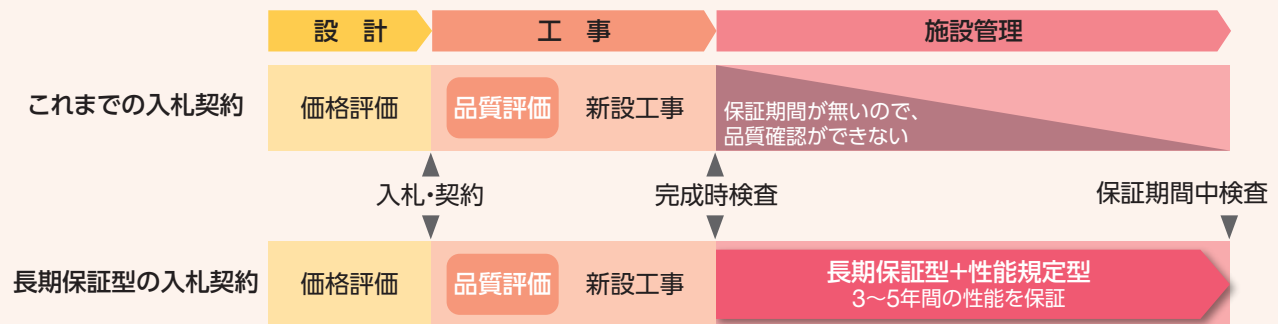
この契約方式は、新設の舗装工事とその後の維持管理が一体となった入札契約で、新設工事の完了後、一定期間を経た後の品質保証を受注者に求めるシステムです。

現在のところ、新設のアスファルト舗装を対象に採用され、平成24年度から全国の地方整備局で導入が始まりました。

従来の工事との大きな違いは、契約期間の長さです。

新設工事の引き渡し後、その区間の維持工事を複数年契約で発注するというトータルサポートの契約方式になります。これにより、完成時の状態で品質を判断していた従来の方法と異なり、完成から3年～5年経過した状態の品質を確認することができるようになりました。新設舗装工事と維持管理が一体となったことで、品質の向上と管理の効率化が期待できます。

これまでの入札契約と長期保証型の入札契約



中 国横断自動車道姫路鳥取線は、兵庫県・岡山県・鳥取県の3県にまたがり、姫路市～鳥取市に至る延長86.5kmの高速自動車国道です。山陰と山陽、関西圏への連結道路として、輸送や移動時間の大幅な短縮が見込まれています。平成25年3月には大原IC～西粟倉IC間が開通したことにより、佐用JCT～鳥取IC間が全線開通となりました。

大成ロテックは、大原IC～西粟倉IC間の新設工事を受注しました。平成24年8月から着工し、翌年3月の引き渡しから5年間の品質保証が求められました。品質性能に関して「わだち掘れ量」「ひび割れ率」「浸透水量」の性能規定値(右表)に従って、日々路面の維持管理にあたっています。

また本工事は、品質性能が求められている新設舗装区間に加えて、その前後の佐用JCT～鳥取IC区間を含めた62.3kmの保守管理も請け負っています。

保守管理の主な業務は、パトロール車にて道路の巡回を行い、道路施設等の異常の確認、落下物回収、事故車対応、通行止め等の対応です。それ以外にも応急作業として道路の維持、清掃、舗装、道路付属物設置、大雨・暴風・警報等による異常気象時の通行止め規制、冬季の除雪作業等を行うなど、車両の安全な走行に支障をきたさないように姫路鳥取線を24時間態勢で維持管理しています。

アスファルト舗装	
保証期間	5年
わだち掘れ量	12mm以下
ひび割れ率	10%以下

排水性舗装	
性能管理期間	3年
浸透水量	770ml/15秒以上



平坦性試験



道路巡回(故障車の後尾警戒)



梯団除雪作業状況



FRPメッシュによるトンネル天井部の剥落防止

TOPICS

現在進行中

合材供給・中間処理体制の強化！城南島工場、2015年春稼働へ

大成ロテックは、アスファルト合材供給・建設産業廃棄物の処理体制の構築に向けて、新たなりサイクルセンターの建設に着手しました。建設予定地は東京都大田区城南島。東京ゲートブリッジを抜けた先にある城南島は、多くの廃棄物処理・リサイクル施設が林立するエリアです。廃プラスチック工場のあった9,000㎡の土地・建物を有効活用し、東京ベイエリアを拠点としたリサイクルセンターとして生まれ変わります。

目下、2015年春の稼働を目指し、許可申請等の手続きを進めています。

